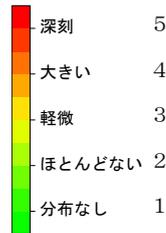
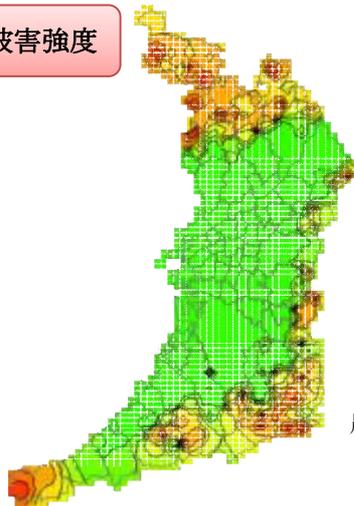


大阪府イノシシ第二種鳥獣管理計画（第3期）の主な変更項目について

第1期計画	第2期計画
<p>計画の期間 平成27年5月29日～平成29年3月31日</p> <p>管理の目標 (1) 大阪府イノシシ第二種鳥獣管理計画(第2期)の評価 (2) 管理目標 平成22年度の被害金額及び被害面積の半減 平成22年度の捕獲数(約3,700頭)以上の捕獲</p>	<p>計画の期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日</p> <p>管理の目標 (1) 大阪府イノシシ第二種鳥獣管理計画(第3期)の評価 (2) 管理目標 イノシシ生息地域での平均目撃効率を <u>0.15 (頭/人日)</u> 以下とする。 年間最低捕獲数を <u>3,100頭</u> とする。 モニタリング調査の結果を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。</p>

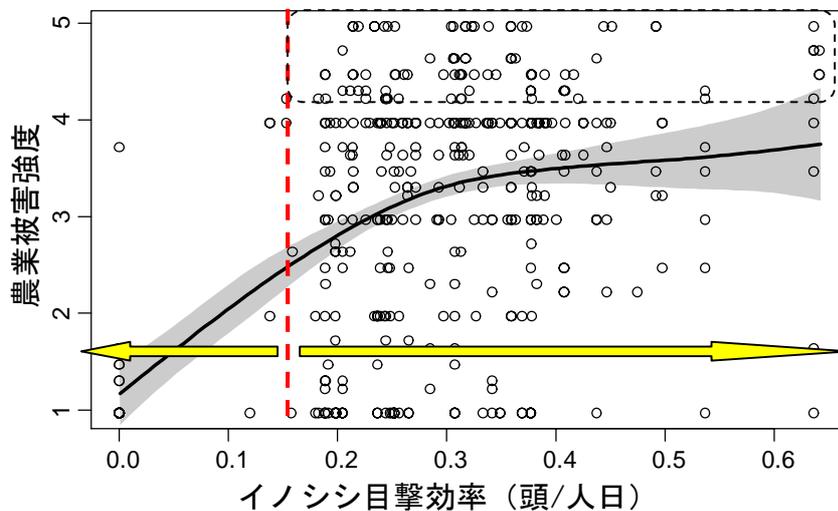
イノシシ農業被害強度



農業集落代表者対象に農業被害のアンケートを実施。

(回答数：1,148 集落)

イノシシ目撃効率と農業被害強度



・狩猟者に出猟状況と捕獲状況をアンケートを実施(銃猟：429人)

・目撃効率(目撃頭数/出猟人日数)は生息密度の指標となる。

・目撃効率 **0.4** (頭/人日) 程度まで増加ののち、ほぼ一定

・目撃効率 **0.15** 程度を境に被害強度が4(大きい)より大きい地域が発生

農林業被害の軽減及びイノシシと人間との長期にわたる安定的な共存を図るために銃猟による目撃効率を **0.15** (頭/人日) にまで個体数を減らす。